

第1回
松江市街地治水対策検討委員会資料

平成22年3月8日
島根県

目次

□ 検討委員会について

◆ 設立趣旨

□ 今後の進め方について

◆ 今後の進め方

◆ 関係住民への周知

□ 松江市街地における河川の概要 及び現状と課題

◆ 流域と河川の概要

- ・ 流域
- ・ 主要河川
- ・ 自然環境
- ・ 景観
- ・ 観光
- ・ 歴史
- ・ 文化
- ・ 土地利用
- ・ 水質
- ・ 河川空間の利用状況

◆ 流域の浸水被害の状況

- ・ 氾濫の特性
- ・ 過去の浸水被害
- ・ 浸水状況

◆ 治水対策に関する現状と課題

- ・ これまでの経緯
- ・ 既存河川改修計画
- ・ 水門、内水処理施設
- ・ 下水道(雨水排水)施設
- ・ 土地利用の変遷
- ・ 治水対策に関する課題

□ 松江市街地内水対策(案)

検討委員会について

設立趣旨

近年、松江市街地周辺は市街化の進行が著しく、雨水の保水や貯水機能を有していた田畑や山林が失われるだけでなく、遊水機能を有していた低平地の宅地化も進み、家屋や道路等で浸水被害が頻発しているため、早期の治水対策が求められている。

松江市街地の浸水被害の軽減・防止を図るためには、市街化の進んだ土地利用状況も考慮した河道整備及び内水排除施設整備と併せ、雨水排水施設整備や流出抑制施設整備など総合的な治水対策が必要となる。

しかし、中心市街地での治水対策はコストが高く、整備に相当な時間を要する上、観光やまちづくりへも配慮が必要であり、最小限の改修で最大の効果が得られる治水対策が求められることから、計画策定には高度な技術と知識が必要となるとともに、市民との合意形成が重要となる。

このため、河川工学や環境、景観などの有識者、住民代表者からなる松江市街地治水対策検討委員会を設立し、松江市街地の治水計画を検討する。

今後の進め方について

議事1

今後の進め方(1)

松江市街地治水対策計画策定フロー

H22.3~
松江市街地
治水対策検討委員会

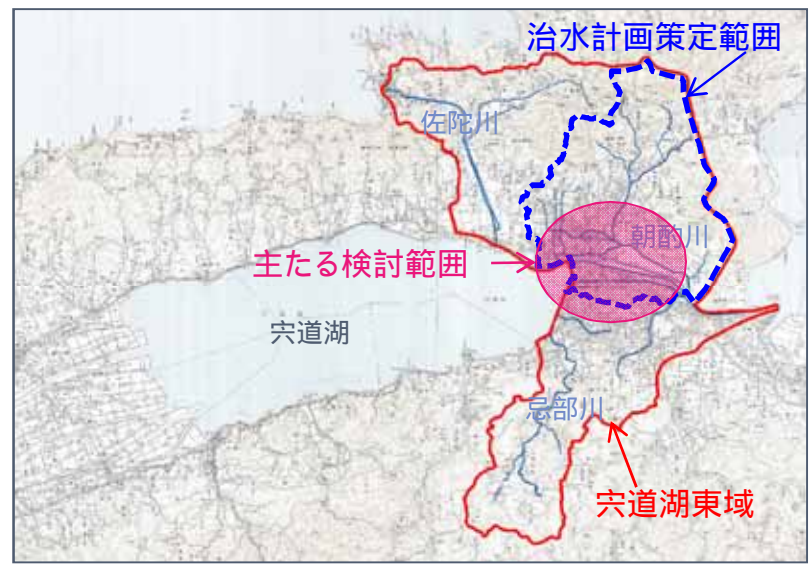
検討

松江市街地治水計画(提言書)
治水計画
河道計画
内水処理計画
流域対策 など

提言

H23.2
松江市街地治水計画
策定(島根県)

反映



宍道湖東域河川整備計画策定フロー

河川整備計画(案)を作成

宍道湖東域
河川整備計画(案)
整備区間
佐陀川流域
忌部川流域

H22.4

河川整備計画
策定(島根県)

意見

H21.11.20, H22.2.22

宍道湖東域
川づくり検討委員会

松江市街地治水計画を反映し、
河川整備計画(修正案)を作成

宍道湖東域
河川整備計画(案)
整備区間
朝酌川流域
佐陀川流域
忌部川流域

H23年度

河川整備計画
変更(島根県)

意見

H23.3~

宍道湖東域
川づくり検討委員会

今後の進め方(2)

第1回(H22.3.8)

- 松江市街地治水対策検討委員会設立について
- 松江市街地における河川の概要及び現状と課題

第2回(H22.6)

- 現地視察
- 課題まとめ
- 課題解決のための検討方針

第3回～第4回

- 河道計画の検討
- 内水対策の検討
- 流域対策の検討
- 効果的な整備の検討

最終回(H23.2)

- 松江市街地治水計画(提言書)のとりまとめ

